第十四回製鐵所懇談會に於ける製鐵合同問題に關する懇談の概要

第十四回製鐵所懇談會は去る一月十六日、十七日の兩日本事務所に於て開催されたが、本懇談會は兩日を通じて其の半ば以上を製鐵官民合同問題に關する懇談に費された。此の問題は一般從業員諸君の深甚なる關心を集めて居る問題であり、且つ懇談會の模樣が巷間傳ふる所間々事實に多少の誤がないでもないやうであるから、茲に懇談會議事筆記中同問題に關する部分のみを取急ぎ整理し、一般の議事こ切離して特に號外こして從業員諸君に配布することにした。

懇談經過の概要を摘記すれば左の如くである。因に本記事中前後の長官のお話は口語體、其の他は口語常體で整理記載することにしたので御了承を願ひたい。

第一日

十六日午後一時開會、劈頭中井長官より左の如く製鐵合同問題に關する説明があった。

中井長官

【中井長官】諸君から御提出になつてゐる各事項に就ては是より懇談されることゝ思ふが、その前に私は別に第十四回懇談會の議題に付てと云ふことでなしに、此處には懇談會員の外に參與職員も多數列席して居られるから職員職工の代表者の集つて居る此の機會に於て御挨拶もし又今政府で考究してゐる製鐵合同問題に就ても御話をして置きたいと思ひます。

昨昭和七年の初頃は先年來の不景氣の後を受けて各工場共經營困難でありましたが、秋頃からは段々仕事が忙しくなり、年末に際しては殊に軍部の註文や各方面の註文が重なり合つてどの工場も多忙でありました。斯樣な次第で一年を通じて諸君に心配をかけました。而して製鐵所に於ける經營状態も幸に段々良好になつて結構と思つて居る次第であります。最近は海外からの註文もあり東洋方面への輸出も出來る樣になりまして本年の鐵鋼業は益々多忙となる模樣であります。然し今都合がよいからと言つて本邦經濟界の將來を考ふるときは決して調子に乘つてはならないのであります。詰り餘り安心してもいけないし、又各方面の註文には力めて之に應じて行かねばならぬから、昨年に倍して諸君の一層の御努力を願ふ次第であります。

今や我國の製鐵業は益々健全に發達して行きつゝあり、尚今後に於ては國内の自給自足のみならず海外輸出も可能になつて來處であります。就ては此の事業たことは誠に御同慶に堪へないのため將又國家の爲に益々努力して行きたいと思ふのであります。

次に製鐵合同問題は政府の方でも其の案が段々具體化し諸君も之に付て多大の關心と又或る程度の懸念を持つて居らるゝやうでありますが、之は事情が分らないで無理からぬ事と思ふので諸君は敢て心配されるに及ばないと云ふ事を此の際お話して置きたいと思ふのであります。

私は野田技監と共に毎年此の問題に關係し來つて居るのでありますが、何故毎年の樣に製鐵業の合同が唱へられるかと言ふに、製鐵事業は國際的の商品を生産する事業であつて歐米、印度等の同事業に對抗して絶えずはげしき國際競爭の下に軍事上産業上必要なる鐵鋼材を生産する重要なる事業なるが故に、國内の無益の競爭や二重投資を避け、外國に對抗して良いものを安く作つて各方面に供給し更に外國へまでも輸出する樣でなくてはなりません。そのためにはどうすればよいか。即ち我邦の製鐵國策を如何に樹立するかと云ふ事が議せらるゝ度毎に何としても斯業の統制を圖らねばならぬ。而して之を徹底的に統制するには合同を爲す事が最も適當であると言ふ事になつて居るのであつて、政府の企ても常に其の方向に向つて進められ來つたのであります。而して其の方法として考へられる事は先づ製鐵所を民間に拂下げて各工場と合同する案も考へ得らるゝが、これは諸君も反對であり我々も反對である。次に考へられる方法は他の民營工場を買收して合併する方法でありますが、これは現在の官業を更に延長するといふのでありまして敢て反對すべきでもないが、之を實現せしむるには、之に參加する會社を買收する爲多額の公債を發行せねばなりませぬが其の爲には幾多の甚敷困難なる事が伴ふのであります。そこで現在の製鐵所の經營形態を官業から民業に、即ち現在の製鐵所の資産を評價してそれを其のまゝ政府の持株とし政府の監督の下に會社法による會社となし、これに現在の民間會社が參加合同して充分に軍事上産業上に其の能力を發揮させるのがよいと言ふ事が考へられそれが最も實現し易いと言ふ事になつて居ります。そこで今度の合同の方法は誰も金は出さないで又現在の工場設備の過去の投資や借金等は一切見ないで今働き得る工場設備を官も民も同じレベルに並べて見て各々の經濟價値を評價して之を出資とする仕組であるが故に、騒ぎされる樣なボロ會社の救濟等と言ふ事にはならぬのであります。即ち各工場の經濟的價値を有りのまゝに嚴正公平に評價して合同會社に對する株數をきめるのであります。現在合同に參加し得べき業體の工場は十二あるが、全部を合同する事は容易ではない。故に政府の最も適當と認むる案を立て先づ合同の基をつくつて之に參加するものを順次に加へて行くと言ふ事になるのであります。只今商工省では此の最後の案で合同を立案し大藏省と協議しつゝあり、又一面に於て軍部其の他の關係各省と交渉して居るのであります。然し未だ具體的交渉はまとまつて居ないので議會提出の時期は不明であります。然し何れにしても餘り實現の可能性が遠いやうであります。次に從業員の待遇に就てゞありますが、合同計畫は國家の大計から見たる政府の政策として行はれる政府の仕事であつて、私は官吏として其の調査攻究に參加はするが長官の仕事ではないのであります。

私は製鐵所の工場管理者として關與する立場に在るので從業員の待遇等に關する限り其の低下する樣な事のない樣に進んで努力すべき關係にあると思つて居るのであります。合同は政府が國家産業の現在及將來を考へてやるのであり、殊に當工場を中心として合同するので、拂下げるのではなく、工場其の儘が政府の持株となるのであるから、諸君の待遇は合同後と雖も少しも懸念する必要はないと考へてよい譯であります。

職工諸君は合同後と雖も何等變りのない事は申す迄もありませぬが、職員のうちに恩給年限に達して居ない人は將來の資格がなくなると言ふので又身分上の不安がありはしないかと心配されて居る向もある樣であります。それに就て如何に善處すべきか私も充分考へて居る處であります。然しいづれにしても諸君の不利益にならないやうにと考究して居る譯であるから安心して各自の職務に努力して戴きたいと思ふ次第であります。日本現在の經濟状態から見て昨年、一昨年は思ふやうな活動も出來なかつたが現在では銑鐵も鋼材も不足を告げて居るやうな状態であります。惟ふに我國の鐵鋼業は日本の國力の進展に伴はねばなりませぬ。そこで只今の需要の二百三、四十萬屯も近き將來三百萬屯、或ひは三百五十萬屯に增加した場合どうしたらよいであらうかと思はれる譯であります。即ち製鐵業は益々發達すべき情勢にあるのであります。尚全部の合同は早急には難かしくこれが完成するのには相當の年月を要するが、いづれにしても現場關係の方は殆ど影響はないと信じます。唯事務關係の方の内には當所の工場作業に必要なものもあり、又合同會社全體の事務處理に必要なものもあり、合同すれば減つてもよいと考へられる向もないでもないが、一面文書課、秘書課の如き却て增す向もあり全體から見れば大した事はないと思ひます。然し從來からの色々の場合を見ても或る場合は一時剩員も出來るのは已むを得ないのであります。又一方前述の如く將來事業は發展すべきものであるから待遇上のみならず身分上についても諸君は敢て懸念はいらぬと思ふ次第であります。然し今の儘でも會社になつても職員は時々新陳代謝を行はなければならぬことはこれ迄通であるのでこれは已むを得ないことでありますが、合同のために身分上の不安を感ずる樣な事はないと思つて居ります。

終つて懇談會員より提出の懇談事項第一、製鐵合同問題反對の件につき懇談會員側の數氏から提出並反對の理由の説明があり、本問題に關して大體左記の如き質問が發せられた。

○關懇談會員

一、雇傭條件の低下
一、賃金の低下
一、勤續年數の打切
一、年齢滿限の低下
一、解雇の頻繁
一、解雇手當の減額
一、共濟組合への補助金
一、購買部の經營
一、官舍料の徴收
一、病院の藥代値上
一、電燈料の値上
一、意志疏通が不便となる

合同すれば以上の如き點に付心配がある。

○松本懇談會員

一、官民合同ハ今議會ニ提出スルヤ否ヤ
（イ）若シ提出スルトスレバ從業員ノ了解ナクシテ突如提出シタル場合長官ノ責任ハ如何
（ロ）決定シ居ラズトスレバ人心ノ動搖ヲ何故防止セザルヤ
一、被合同會社ハ何々社カ、決定シ居ラズトスルモ其ノ見透セル社名ハ何々カ
一、合同會社ノ態様ハ如何、生産、販賣、勞働統制乎タル社トナルカ、或ハ其ノ一、二ヘ現在ノ如キ獨自性ガ形式上、法律上殘サレルモノナルヤ、否ヤ
一、合同會社ノ幹部構成ノ形式及實體ハ如何
一、合同成立スルトキ、從業員ハ形式上解雇スルヤ否ヤ
解雇セズトスレバ如何ナル手續ヲトルヤ
一、解雇セラレテ法律上無關係ノ全從業員ヲ新會社ハ如何ナル形式ニ於テ引繼グヤ
一、引繼可能ナリト云ヘバ、如何ナル根據ニヨリ如何ナル法律上ノ手續ヲ從前ニ爲シオクヤ否ヤ
一、從來諸會社ノ合同ヲ見ルニ凡テ一度解雇シテ新會社ノ採用當ツテハ其ノ若干ノミヲ選拔新採用スルモノナルガ、其ノ例ニヨラズトスレバ其ノ保證ノ方法如何
（イ）出資評價條件デアツテ從業員問題ガ條件ニナラザル理由如何
（ロ）從業員待遇問題ハ合同ノ條件トシテ行ハルルヤ
一、合同後ノ新會社之ヲ行フヤ合同後ニ行ハルルモノナルヤ時長官ハ現在如何ナル資格ニ於テ我々ト約束スルカ
一、合同ノ前提又ハ條件デアル場合其ノ勞働條件ハ如何ナルモノナルヤ
（イ）若シ決定セズトスレバ從業員待遇ヲ後廻シト爲シテ合同ヲ策スルハ至當ノ態度ト思ヒ居ルヤ
一、若シ條件デアル場合或ハ新會社トシテ歷史待遇ヲ異ニシテ居ル諸會社ガ其ノ製鐵所特殊ノ條件ヲ採用スルコトガ論理上可能ナリヤ
一、長官ハ待遇問題ヲ社會上法律上決定シテ合同ニ臨ム意志ナキカ
待遇決定セザレバ合同反對ノ態度ヲ採ルコトガ長官トシテハ當然ノ義務ナリト思ハザルヤ

○幸懇談會員

一、合同の可能性ある會社の内容を發表せられたし
一、一流製鐵會社と合同せざる理由如何
一、買收の方法を採らざる理由如何
一、長官が製鐵所の官吏の爲に採らんとする方法如何
一、合同後會社の長は頻繁に政黨の力に依りて更迭せらるることなきや
一、市に對する助成金は如何になるか

○渡邊（仁）懇談會員

一、合同後の新會社は軍需品製造に圓滑を缺くことはないか
一、功程拂又は功程割增制度の下に於ける勞働状態を以て合同後の勞働の標準とすることはないか
一、諸隣の工場に從業員を轉傭することはないか
一、勞働條件を統制することはないか
一、合同後製鐵會社の政黨化防止の爲責任ある議が練られつつあるか

○柴田（光）懇談會員

一、長官と合同計畫關係者との間に勞働條件に關し正式に議せられたることありや

之に對し中井長官再び起つて左の如く詳細に説明を加へられた。

中井長官

【中井長官】製鐵合同實現の後に於ても製鐵所懇談會は大體現在の組織の儘永久に存續すべきものと私は思ふ。

この懇談會は規則にも明示されてゐるやうに、元來懇談會員と參與員とを以て組織されるものであり、從つて懇談はこの兩者の間に雇傭條件及び職工共通の利害に係る事項に付て行はれるものであるから、製鐵官民合同問題の如きは元來懇談事項の範圍外に屬するものであるが、然し本問題は重大な問題でもあり、諸君も非常な關心と懸念とを有つて居られるやうだから、一には此の機會に於て諸君が不安を一掃して專心職務に勉勵されるやうにといふ考へから、又、二には本問題に付て我々が色々と考へ、又折衝して居るが、諸君の御意見を聞いて見て我々の考へに足らぬ點があればそれを補つて、此の事業を圓滿、完全に遂行したいし、又若し諸君に誤解があるならばそれを正して貰ひたいと、斯樣に考へて長官として事情を盡すために先刻特にお話をした次第である。それに付て諸君から色々と御質問が出たが、私はその言葉その儘には御答へしない。又答ふべからざる筋合のものもある。そこで私は私や技監が如何なる態度で此の問題に當つて居るかといふことを總括的に御話して見ようと思ふ。三萬人にも及ぶ從業員諸君の一々の質疑を微細に亘つて御答へすることは出來ないことであるから、大體の點を説明するのであるが、若しこの席の話に依りなほ疑問の氷解せぬ點があるならば他日又説明する機會もあらうと思ふ。

今回の合同計畫は、先づ政府は此の工場を適當に評價し現物出資として民營に移し、その時話が纏つた會社だけを合同し、話が纏らぬ會社は強いて急に合同をせず時期を待つて段々合同するといふことになつてゐるのである。目下の處合同に參加すべき會社は何々かと云ふに、大體内地及び朝鮮に存在する製鐵工場はすべてゞ十二箇所ある。此の外川崎造船所、住友伸銅鋼管會社の如く他の事業と交錯して作業してゐるものは其の他の事業迄も加へることは餘り範圍が廣汎になつて際限がないので除いてある。又滿洲に在る製鐵所は今日直に合同する譯には行かぬが、滿鐵が半官半民であるから、差當りは姉妹會社としてやつて行くことにならう。

政府はこの計畫に付て未だどの製鐵會社とも話をしてゐない。合同案が議會を通過した上で各個の製鐵會社に合同の交渉をすることになる。從つてどれ丈けの製鐵會社が合同に參加するかは目下の處全く判らない。新聞紙上では二社とか五社とか傳へられてゐるが、之は全く世間の想像に過ぎない。三社が參加するであらうと云ふ想像の根據は、現在東洋製鐵會社及び九州製鋼會社は製鐵所の委任經營の下にあるから最も實行容易だと云ふ點にあり、誰でも考へ得ることである。又、五社と云ふ想像は之に岩手縣釜石、北海道輪西、朝鮮兼二浦の製鐵所の三社を加へたもので、此の三社は資産や借入金の整理が部内丈で濟むから參加し易いと云ふ想像であらう。

合同はボロ會社の救濟ではないかといふ御話もあつたが、製鐵所と他の會社とを比較すれば大差があるから左樣に思はれるのであらうが、投下資本額に依らずして現在の經濟的價値を夫相當に評價するから救濟と云ふことにはならない。是は製鐵所の内部に付て例をとつても、洞岡の新鎔鑛爐と第一、第二鎔鑛爐とは大いに値打が異ふ。壓延工場でも古いもの

財團法人 協調會福岡出張所